

Takara standard

**日系キッチンブランド“グローバルトップリーダー”への一歩
世界唯一のホーローシステムキッチンがインドネシア初上陸
「Indo Build Tech Expo」に初出展**

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：小森大）は、インドネシア最大の建材・建築・インテリアの展示会である「Indo Build Tech Expo（インドビルドテックエキスポ）」に初出展します。2024年に発表した「タカラ中期経営計画 2026」の中で、海外事業基盤の構築を収益構造改革施策の一つとして掲げており、2030年度の海外事業売上 100 億円達成を目指している中、インドネシアを新たなターゲットの一つとして定め、ホーローの受容性調査とパートナー企業開拓と今後の事業展開計画の具体化を行います。



（展示ブースイメージ）

タカラスタンダードは、2015年から本格的な海外展開を開始。東南アジアを中心に、高温多湿な気候に最適な独自の「高品位ホーロー」をご評価いただき、順調に売り上げを拡大してきました。今後のさらなる成長のため、2024年4月に新設された新組織「グローバル事業本部」の下、既存展開エリアにおける営業強化と、マーケティングやブランディングによる事業基盤整備に取り組んでいます。

昨年12月には新規進出候補として、インドの展示会に出展しました。4日間で獲得した500名以上の来場者からホーローを高く評価いただき、近年中の事業展開開始に向けて、現在パートナー企業の選定を行っています。

そして今回、インドネシアを新たなターゲット国として設定しました。インドネシアは現在約2.7億人と世界第4位の人口を抱えており、2050年まで一貫して増加を続ける見込みです。また、著しい経済成長を続ける中、富裕層の数が急増。特に、インドネシアの富裕層は不動産の購入に熱心だと言われており、ハイエンドクラスのキッチンの需要も今後増加が見込まれます。そこで、タカラスタンダードは、その市場拡大に備えて事業基盤を仕込むため、今回初めて展示会に出展する運びとなりました。

今回の展示会では、インドネシア初上陸となるホーローシステムキッチンとホーロー内装材がインドネシアの方からどのような反応をいただけるか調査するとともに、今後の進出に向けたパートナー企業探しも目的にしています。

タカラスタンダードのホーローキッチンは、鉄の強さとガラスの清潔さを併せ持っており、清掃性、耐火性、耐久性に優れているのが特徴です。インドネシアでは、調理の過程でスパイスや油を多用しますが、ホーローキッチンを採用すれば、水で一拭きするだけで汚れが落ちるので、お手入れが簡単。また、ベースが鉄なので、一般的な木製のキッチンと違い、シロアリに食べられて劣化する心配もありません。湿気でも傷むことがないので、高温多湿の熱帯性気候のインドネシアにおいても長年にわたって清潔にお使いいただけるキッチンです。

タカラスタンダードの海外事業は現在、台湾、中国、ベトナムの3エリアを中心に、約11億円を売り上げています。今後はインド、インドネシアを加えた5エリアで、2030年度の売上100億円達成を目指し、独自の「高品位ホーロー」を世界へと広げてまいります。

【参考資料】

(1) タカラスタンダードの海外事業戦略 (中期経営計画 2026 より抜粋)

Takara Global Vision 2030	
日系キッチンブランド“グローバルトップリーダー”を目指す	
ホーロー素材を生かした唯一無二のキッチンメーカーとして、 グローバル市場におけるプレゼンスを高め プレミアムとして選ばれるキッチンブランドを目指す	2030 年度 KPI 海外売上高 = 100 億円、ROS = 20%、市場シェア = 1%超

リソース有効活用

- キッチン+内装パネルへのリソース集中
- 営業生産性向上
- 成長市場への重点攻略
- エンドユーザーアプローチ
- 販売チャネル整備およびガバナンス強化

成長基盤構築

- お客さま目線の最適商品提供
- グローバルサプライチェーンの確立
- 戦略的パートナーとの連携 (JV 等)
- 管理支援体制・インフラ整備
- 海外マネジメント人材育成

プレミアムブランディング

- プレミアム市場における認知度向上
- 上質価値の提供 (商品およびサービス)
- CRM 体制強化
- ホーロー価値の対価適正化
- 首尾一貫したブランド訴求

(2) 「Indo Build Tech Expo」について

- ▶開催日 2024年8月7日(水)～11日(日)
- ▶会場 Indonesia Convention Center (ICE), BSD City, Indonesia
- ▶当社ブースサイズ 35㎡
- ▶展示製品 ホーローシステムキッチン「レミュー」2台
ホーロー内装材「エマウォール インテリアタイプ」
- ▶出展予定者数 約500社 ※事務局発表
- ▶来場者見込み 85,000人

<タカラスタンダードとは>

1912年創業。「水まわりって、大切だから」をブランドメッセージに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立: 1912年5月30日(創業112年) / 売上高<連結>: 2,347億円(2023年度) / 従業員数<連結>: 6,616名(2024年3月末時点)]